青連 意欲的に取り組む
未組織青年にもよびかける

村連合青年団は、リーダー研修や青年のつどい、球技大会、ダンス講習会などを行ない活潑な活動をしている。

青年団活動は、昭和三十五年をピークに活動の低滞をみてきたが、ここ数年意欲的な活動を行っている。

しかしながら、年々団員の減少で単位団体で活動ができないところや、女子青年が二、三人しかいないところなど問題をかかえている。

現在、連青の団員は、一五〇名で、本村の一五才から二四才までの青年はおよそ一、七〇〇名、その一割程度しか青年団に入っていない。

そこで連青では、リーダー研修や青年のつどいなどを開催して団員意識の高揚をはかっているほか、地域課題の解決に積極的に取り組んでいる。

また、多くの未組織の青年にもよびかけ、青年団への加入と仲間づくりに取り組んでいる。

好ましいリーダーの条件などを学習

連青は六月六日、公民館でリーダー研修を行った。

グループ員の発展的人間関係団体活動、グループ活動を活潑化するため、リーダーとはどうあればよいか。グループ員がリーダーや幹部にたよりがちではないだろうかどうか。など映画〝グループと恋人たち〟をみて話し合いを行った。

話し合いの内容

◎好ましいリーダーの条件とは何か。

(1)親しみやすくなんでも話せる人
(2)ひとりひとりの考えを大切にする人
(3)指導者ぶらない人
(4)物事をいろいろな面から考える人
(5)わかりやすく話せる人
(6)決断力のある人
(7)なんでも自分一人でしてしまわない人
(8)グループや集会の運営を心えている人

◎会員が会のリーダーや幹部にたよりがちのことはないだろうか。

(1)会の目的を全員にはつきりさせること。
(2)会員ひとりひとり自分の会であるという自覚をもたせるため、会員に権利と義務を平等に課すること。
(3)反省と評価を常にする。

家庭教育 ①

父親と母親は、よく車の両輪にたとえられます。そのどちらが欠けても車はスムーズに進むことができません。もっともこの車輪は形は同じでも、中身まで同じであっては困ります。なぜなら、父親と母親とではその果すべき役割が異ならなければなりません。

家庭の中で父親は、とかく無視されがちです。

それは、子どもと真剣に話し合うことがないからです。

あなたの家庭では、どうですか。

▼青少年の非行問題、学生のヘルメット、ヘルプ空航乱射事件、連合赤軍の一▲
▼連の事件など大きな社会問題になっています。それにつれて、家庭教▲
▼育のあり方がひきあいにだされてきました。▲
▼そこで本紙で〝新しい家庭で新しい家庭教育を〟よりよき実践のた▲
▼め問題を提起し、みんなで考えてみようと思います。▲

お父さんは家の下宿人か
お母さんはひとり相撲の横綱か

戦後、民主々義、男女平等のことばと共に、父親の権威は地に落ちたといわれています。家庭内の実権は母親に握られ、子どもたちは、父親を〝月給運搬人〟か〝下宿人〟ぐらいにしか思っていないのが現状です。これではまったくのところ家庭教育におけるとした態度をもって事にあたる。そして子どもたちを客観的になりながら、母親の子ども親のことばも行ないも、ハシに対する教育を援助してやるのあげおろしから戸のあけかたまで、まねることによって学びます。それは、小学校へあがってからも同じです。〝小学学へあがれば、教育のこと万事先生におまかせ〟というかけにいきません。

父親とは、よく〝子どもを見ると、だいたいその子のお母さんのイメージがわかる〟といわれています。

子どもの発達をみますと、幼児期（二才～五才）はすっかり母親に依存した状態で生活します。またこの時期の子どもは、周囲のものまねごとのさかんな時期ですから、母親のことばも行ないも、ハシメルを配つて子どもたちをわが家に連れもどそうとする母親の姿がありました。いたいたしいほどの母親の愛情を受けとめた方もあると思います。

しかし、成長した子どもにとってこのような愛情はけつして最良のものではありません。母親の愛情、それは理解をともなった愛情なのです。

ひとり相撲ではいけません子どもの成長とともに、母親自身も成長しなければなりません。

（横小　桜井敬君）

こうした父親の態度は、子どもが小さいうちはそれほど感じないかも知れませんが、成長するにつれ、父親に対する信頼、尊重の念を高めていく力になると思います。

県民スポーツ 白熱した好試合

第八回県民スポーツの日、横越村大会は、去る六月十八日、横越小学校、横越中学校武道館を会場に、各種競技の熱戦がくりひろげられました。優勝者は次のとおり。

◎マラソン
○中学生の部　風間　慶二

◎バトミントン
○中学生の部三年B　斎藤　節子　高橋　順子　別所山美子

◎柔道
○小学生の部　田代　孝弘
○中学生の部　鈴木　勇一

◎剣道
○小学生の部　山田　淳
○中学一年の部　鈴木　慎一
○中学二年の部　佐藤　弘道
○中学三年の部　椎谷　和男
○一般の部　高橋　憲夫

◎銃剣道
○一般の部　高橋　憲夫

◎ソフトボール（男子）
○小学生の部　横越下チーム

◎ドッヂボール（女子）
○小学生の部　横越下、川根谷内合同チーム
○青年の部　米山登美子　塚木加代子
○婦人の部　山崎パンKK　川根谷内B

二本木に青年団誕生

このほど、二本木に青年団（団長仲村正雄、団員二十九名）が発足し、村連青に加盟した。

二本木青年団は、昭和四十一年まで活動を続けてきたが団員の減少、リーダーの不足などによって、崩壊してしまった。

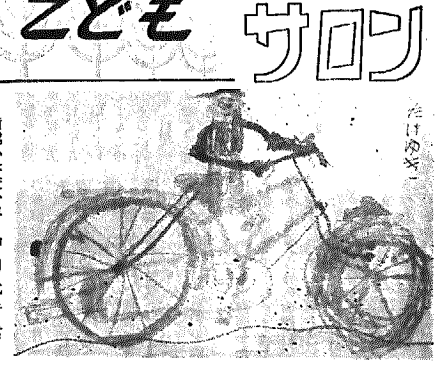
その間、木津分館や、村連青は、組織化の働きかけを行つてきて、発足をみたもの。

このことによって、村全域に青年団ができ、今後の活動に期待したいものである。

村老人クラブ会長に井越吉平氏

去る五月三十日、横越村老人クラブの会長会議が開催され、連合会長に井越吉平氏（二本木）が、副会長に田中繁太郎氏（横越中）、岩田怡一氏（駒込）が、それぞれ選ばれ、連合会長に井越吉平氏（二本木）が、副会長に田中繁太郎氏（横越中）、岩田怡一氏（駒込）が、それぞれ選ばれた。

こどもサロン



横越小学校一年　神田武行君

≪評≫

自転車乗りの楽しさが、画面に大きくあらわれている作品です。

新しく買ってもらった自分の愛車。ハンドルの前についているロケット型の装飾、うしろの荷台美しい色の尾灯、興味深い部分については詳しく落さずかいています。特に、ハンドルをしっかりとにぎってペルに注意をはらいながら、走っている日ごろの様子がよく表現されています。

横越小学校　草間エッ先生

安全

六年　桜井豊

横越小学校六年　桜井　豊君

≪評≫

文字の組み立てに注意して整つた形で書くことをめあてにして書きました。

字形に注意した点は次のようです。

「安」中心線をよりどころに点や画の交わる位置を考えてかく。「全」左右対称形のつもりでかく。

横越小学校　板橋育夫先生

新刊図書紹介

○どくとるマンボウ昆虫記　北杜夫
○苦海浄土　わが水俣病　石牟礼道子
○野蛮人の大学　石原慎太郎
○江戸の遊女　村上　元三
○系図　橋本　英吉
○砧をうつ女　李　恢成
○八幡鳥九郎　山手樹一郎
○静かな罠　皆藤　幸蔵
○夜の鶴　芝木　好子
○青の執行人　梶山　季之

そのほかに沢山の図書をとりそろえました。ご利用ください。

横越村将棋大会参加者募集

◎期日　8月20日　◎会場　横越村公民館
◎競技方法　一部（60才以上）　二部（60才以下）
優勝者には横越村名人位を与える。

申し込み　横越村公民館
主催　横越村商工振興会

編集後記

「かけがえのない地球」を守ろうと、国連人間環境会議がストックホルムで開催され論議がされた。

青少年をとりまく環境も必ずしも人間形成にプラスするように働いていない。幼少時の生活環境が人間の性格や能力の土台をつくるといわれているが、家庭は子どもをすこやかに育てるため、「伸し」「守る」というだけでなく、社会人として「独立させる」ということが大切です。